

MY Privacy

奥田 啓祐

(第一学院高教)

おくだ
けいすけ

1996年10月23日生まれ、神奈川県川崎市出身の22歳。179cm、84kg。西中原中、東京・駒大高、東海大を経て、2019年に株式会社ウィザスへ入社。週に2回、通信制の第一学院高で働きながら、混成選手として競技を続けている。

高校まではやり投で南関東大会進出が最高成績だったが、十種競技に転向した大学時代に才能が開花。1年時の日本ジュニア選手権混成で4位に食い込むと、3年時の日本インカレは準優勝。さらに、4年時の日本選手権混成では初日を全体トップで折り返すと、自己ベストの7472点で4位に食い込んだ。この年は関東インカレ優勝、日本インカレ3位と、「大学4年間の目標が7000点だった」という入学前からは想像できないほどの躍進を遂げた。

同じ混成仲間の丸山優真(日大)、ヘンブルヒ恵(アトレ)とは自身の誕生日に3人でディズニーシーへ行くほどの仲良しで、特に2歳年下の丸山とは「仲が良過ぎてタメ口使われています(笑)」というほどの関係性だ。また、昨年秋からボブスレーにも挑戦し、今年2月にドイツで開催されたジュニア世界選手権に出場。男子4人乗りで17位、2人乗りで14位という成績を残し、オリンピック強化選手に選ばれた。だが、本人はボブスレーでの活動を「あくまでも十種競技につなげるため」と割り切っており、「2024年パリ五輪でメダル獲得」を見据えて8600点超えを狙っている。

「体脂肪率15%のムチムチな私でも日本上位で戦っています(笑)」

月刊陸上競技をご愛読の皆様、はじめまして！ 今月のMy Privacyを担当します株式会社ウィザス陸上競技部の奥田啓祐です。今回のお話をいただいて正直驚いたのですが、自分らしく務めさせていただきます！

まずは自己紹介をさせていただきます。出身は神奈川県川崎市。昨年の日本インカレが開催された等々力競技場の近くに実家があり、日本インカレも実家から通っていました。中学時代は練習も試合も等々力で行っており、思い出深い競技場で優勝したかったのですが、力及ばず3位でした。

陸上競技に出合ったのは中学の時でした。きっかけは小学校の時の運動会でちょっと足が速かったという理由です。私が通っていた西中原中学は日本一生徒人数が多く、1学年11クラスもあるマンモス校でした。そんな環境の中、私は県大会に出場(しかも砲丸投)するのがやっとなで、全国大会なんて夢のまた夢でした。高校は東京都の駒大高校に進学し、やり投を主にしながら、さまざまな種目に取り組んでいました。高校時代も2年時の南関東大会出場が最高成績と平凡な選手でした。

でも、どうしても「全国大会に出場して活躍したい」という夢をかなえたく、友達の誘いもあって東海大学に進学することを決めました。高校時代にさまざまな種目をしてきたことから「十種競技でいけるんじゃないか」と、ノリと勢いで挑戦することになりました。

大学の同期には、インターハイや国体で活躍した選手や、この月刊陸上競技の一面を飾るような選手もいました。恵まれた環境で毎日仲間たちと陸上競技をのびのび楽しく4年間過ごすことができ、「全国大会に出場して活躍したい」という夢をかなえることができました。4年時には日本選手権で7472点を出し、19年間破られなかった東海大記録(7386点/米倉健志=1999年)を更新することができました。

ここまで成長できたのも、私のモットーである「全力で楽しむ」「感謝」「挑戦」を貫き通してきたからです。また、私の周りにいる仲間たちの支えがあったことも大きな要因でした。十種競技に挑戦したことで素晴らしい仲間や経験ができて、本当に良かったなどと

思っていました。

ところで、過酷な2日間を戦う十種競技といえば、筋肉バキバキのキレッキレの肉体美を持つ選手が多いですが、私の身体は「ムチムチわがままボディー」なのです。腹筋は目立つほどもなく、体脂肪率は驚異の「15%」。みんなからはデブと罵られ、最近では身体だけがでかくなっていくため「ゴリラ」「戦車」とまで言われるようになりました(笑)。こんなムチムチな身体でも100mのベスト記録は10秒56。日本上位での戦いができるようになり、「オリンピックなどの国際大会で活躍したい」を目標にし、デブが絶賛奮闘しながら楽しんでます。少しでもこの記事を読んで希望を持てたり、^{がはは}顔晴って、みよかななど思ってくださいの方がいたらとてもうれしいです！

現在、私は株式会社ウィザスの一員として、仕事と競技を両立しながら目標に向かって突

っ走っています。ウィザスは第一学院高等学校、第一ゼミナール(学習塾)、日本語教育サービスなどを運営する、総合教育サービス企業です。「人を育む」ということは本当に難しいなど、入社してからつくづく思われます。そんな生徒と向き合っている同期や先輩、日々自分らしく励んでいる生徒、私を応援してくれている方々のため、十種競技に取り組んでいます。そんな私の試合を観て、楽しんで、笑ったり、喜んでくれて、夢や希望、活力を与えられる選手になることが今の夢です。そして、「ありがとう」と言われるアスリートになれるように、今後も十種競技を全力で楽しみながら邁進していきます！

最後に、人生は心から楽しんだもの勝ちです。これからも全力で楽しみ続ける私にぜひ注目してみてください。次回は表紙でお会いしましょう！最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



勤務先のオフィスにて。ちなみに会社名の由来は「With us(私たちと一緒に)」からきています